

令和7年度 センター研究

高校教育課（高等学校における学習評価等ユニット）



「思考・判断・表現」、 「主体的に学習に取り組む態度」 の評価方法の検討

2025年11月14日（金）

青森県総合学校教育センター

高校教育課 高村 裕彦（理科）

柴田 裕介（地理歴史科）

齋藤 研（保健体育科）

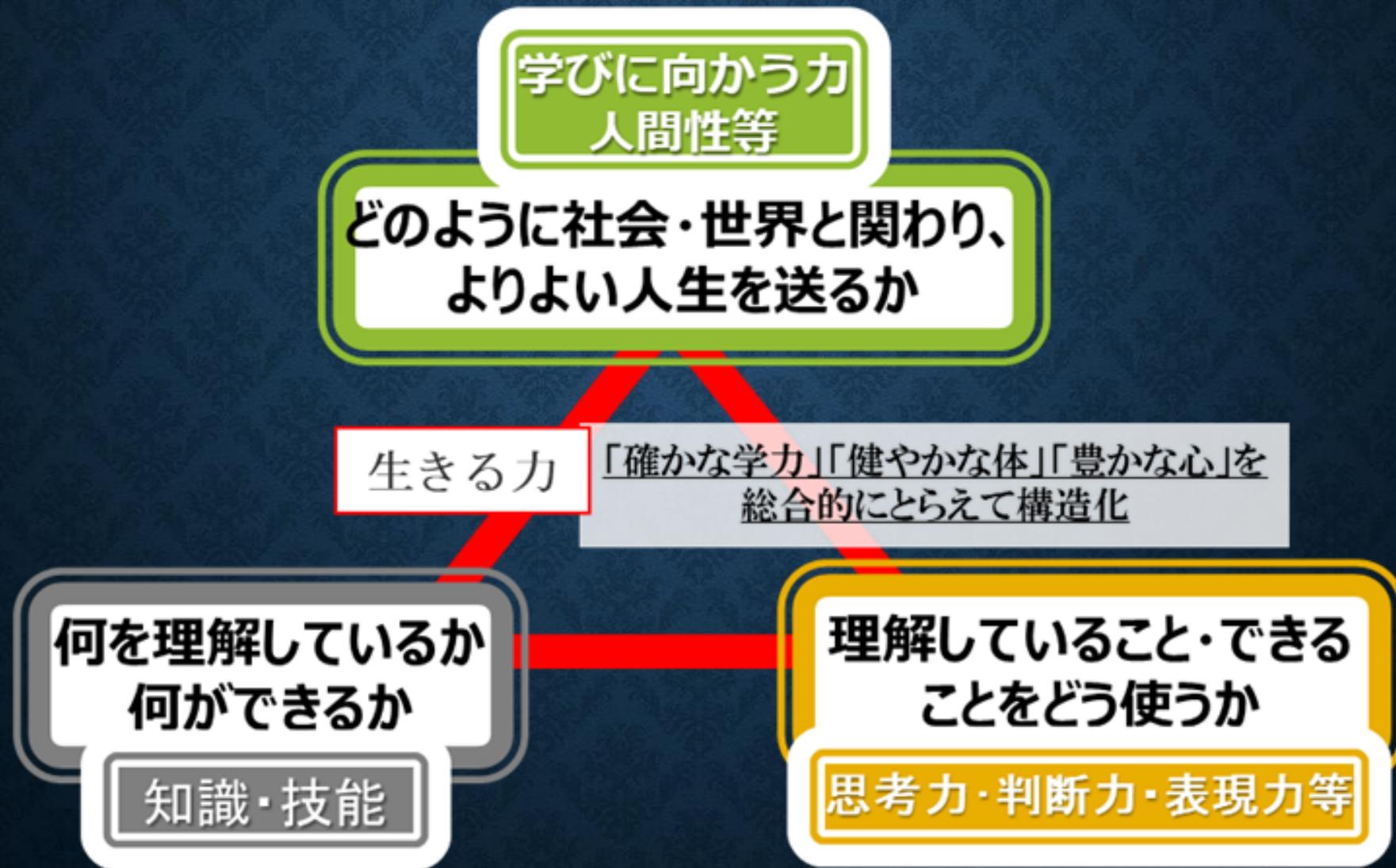
1 テーマ設定の理由

2 研究概要（目的・内容・方法）

3 今後の計画

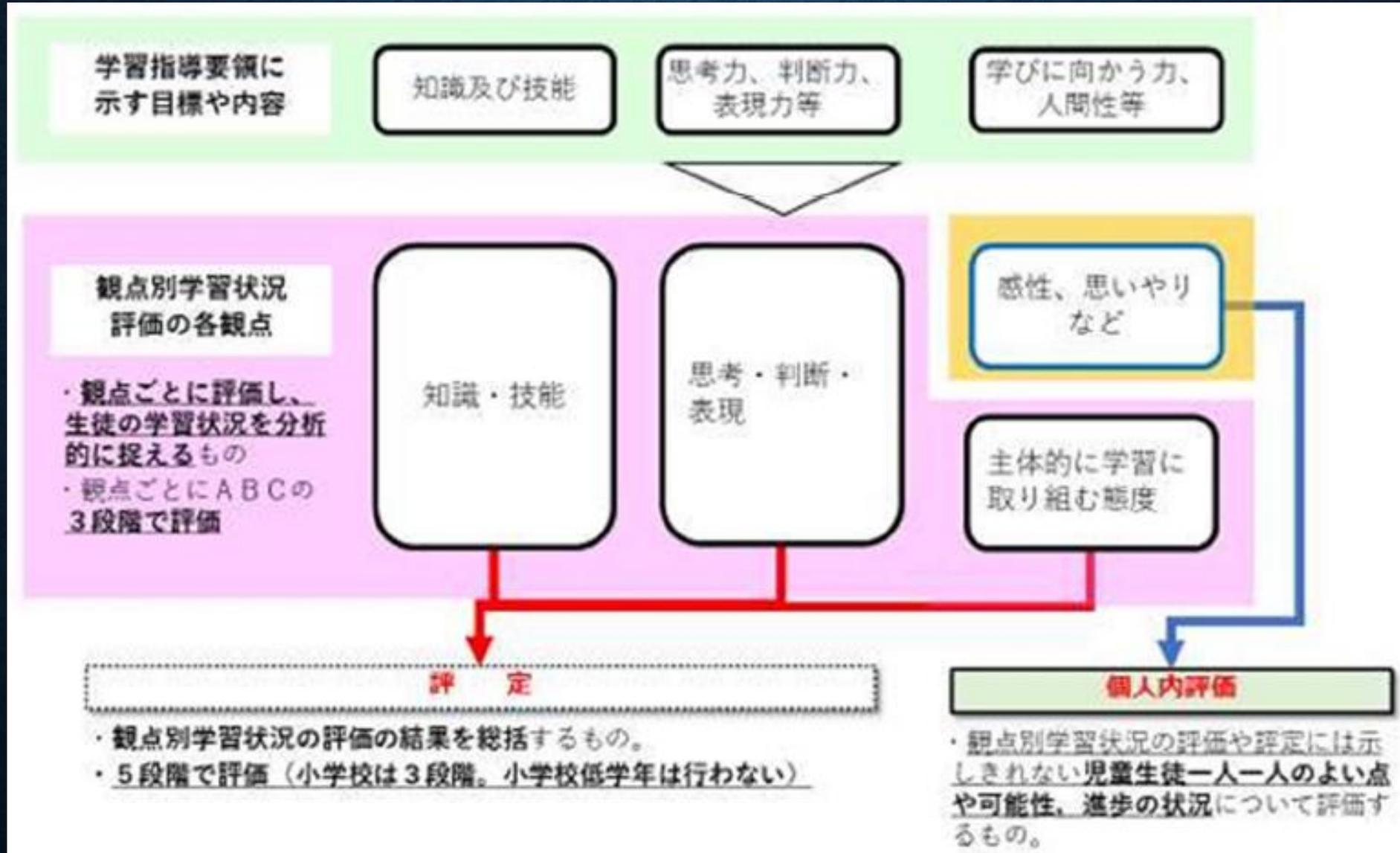
1 テーマ設定の理由

《育成を目指す資質・能力の三つの柱》



1 テーマ設定の理由

《学習評価の基本構造》



1 テーマ設定の理由

《観点別学習状況の評価における課題》

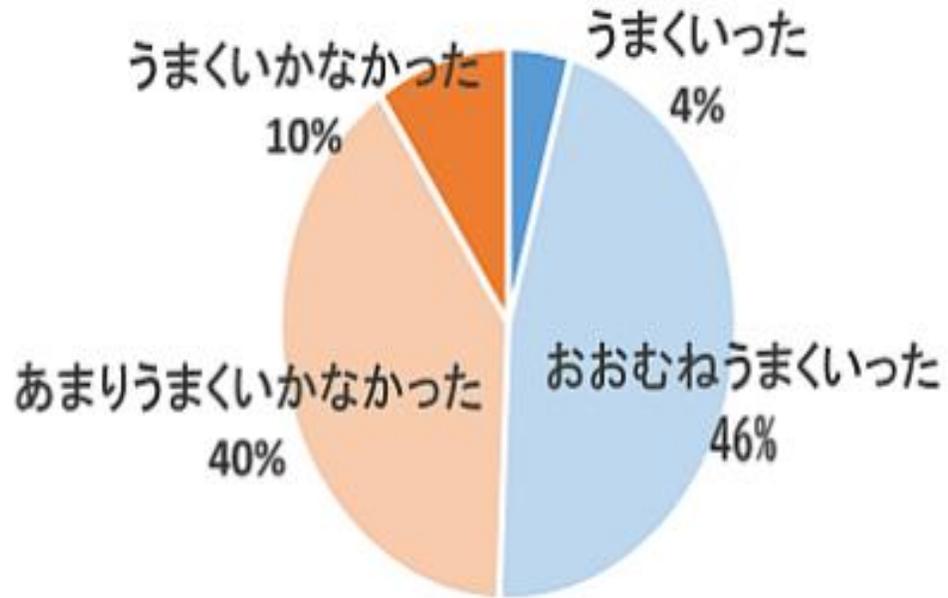
- 形式的なものになっている
- 指導改善のための評価となっておらず、いまだに評価のための評価となっている
- 教員どうし、または教員と生徒で共有できていない
- 「主体的に学習に取り組む態度」の評価方法に課題がある

1 テーマ設定の理由

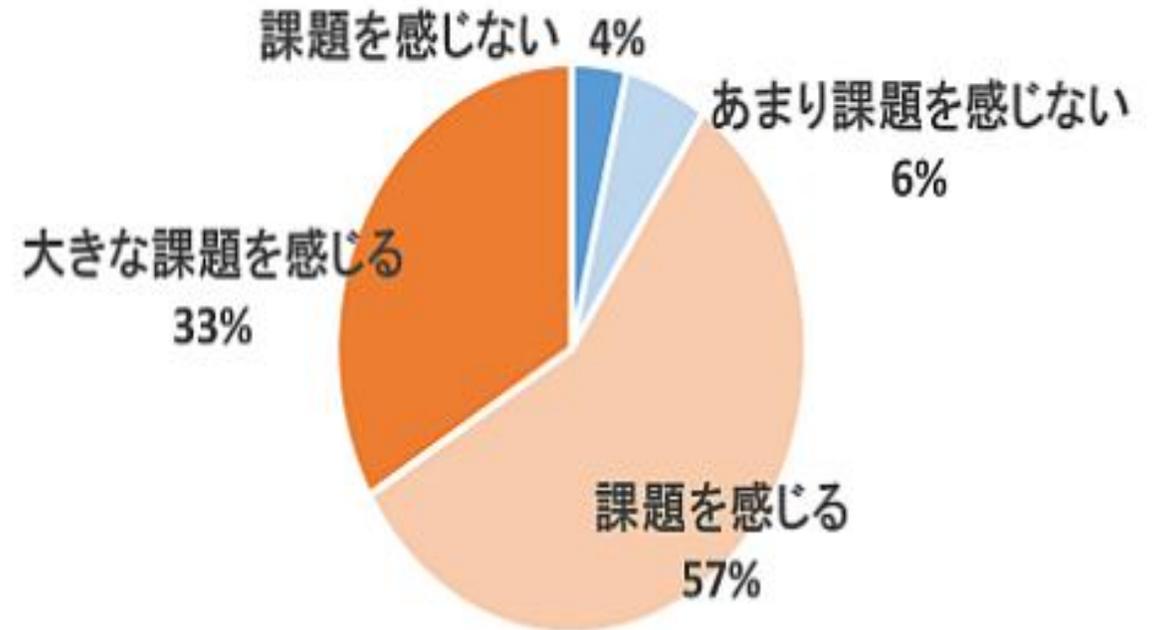
《観点別学習状況の評価における課題》

※スライドのみ

【問1】2022年度から、高等学校においても観点別評価が本格的に導入されました。過去3年間の取り組みを、どのようにお感じですか。(n=158)



【問2】観点別評価について課題を感じていますか。当てはまるものを選択してください。(n=158)



2 研究概要

《研究目的》

各教科における観点別評価の方法の在り方について検討する。また、センターHPやプロジェクトで学校現場に提案していくことで、現場に有効な事例を構築する。

2 研究概要

《研究内容と研究方法》

● 研究内容

「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、評価方法を検討し、各教科における事例を作成する。

● 研究方法

- ・ 文献調査による事例の研究
- ・ 講座（特にC番台）における現場の教員への聞き取りおよび実践
- ・ 各教科におけるパフォーマンス課題およびルーブリックの開発
- ・ 思考力等を問う評価問題（ペーパーテスト、CBT）の事例作成

2 研究概要

《パフォーマンス課題とは・・・？》

資質・能力のバランスのとれた学習評価を行っていくためには、指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組みさせるパフォーマンス評価などを取り入れ、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくことが必要である。

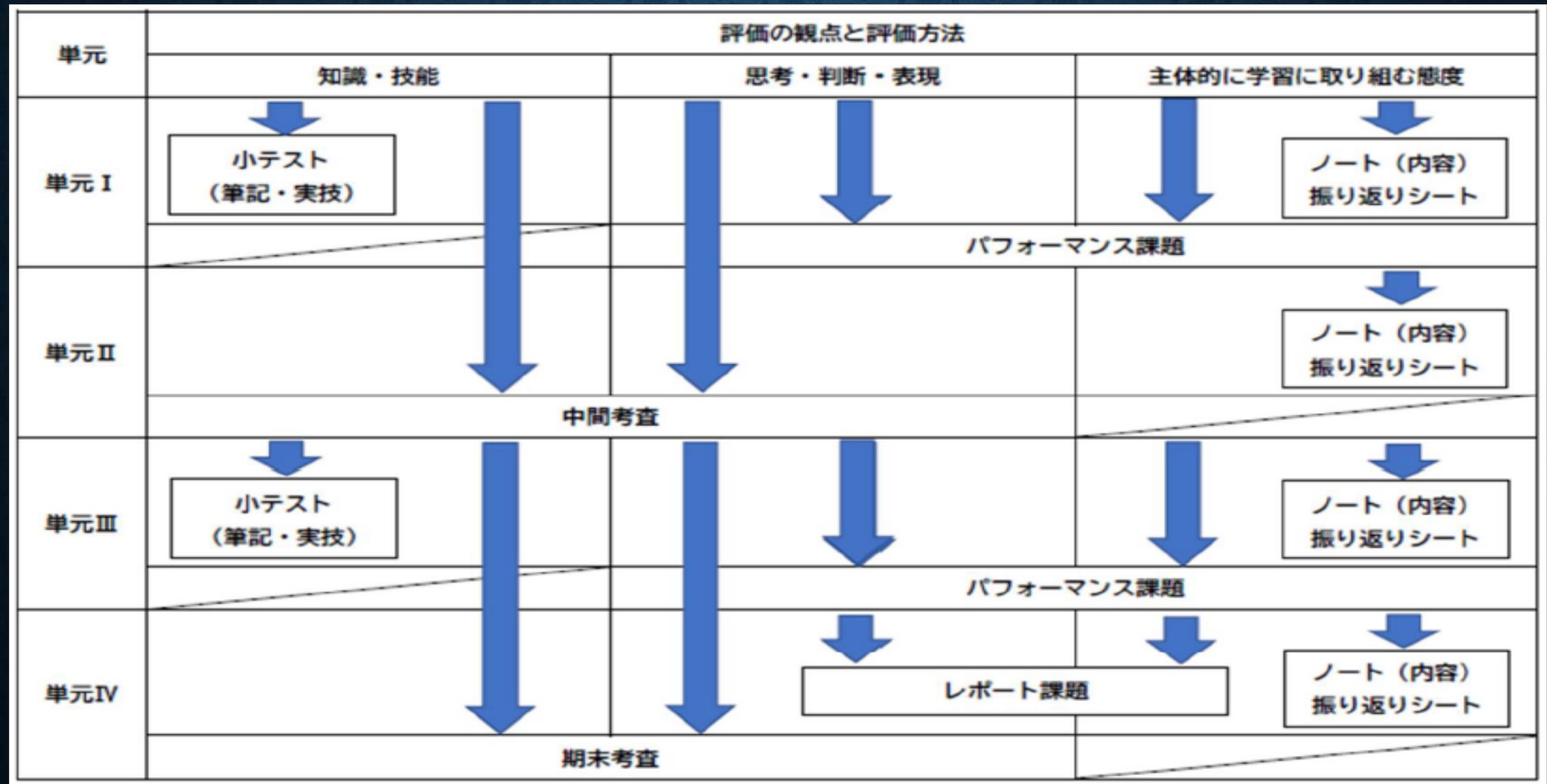
2 研究概要

《パフォーマンス課題とは・・・？》

- まとまった文章を書く。
- リーフレットを作る。
- プレゼンテーションをする。
- グループで話し合う。
- 学んだ知識・スキルを応用して問題解決に取り組む。
- 学んだ知識・スキルを用いて作品を作る。
- 証明する。
- 根拠を示しつつ主張を述べる。
- 現象を説明する。
- 実験を計画・実施・報告する。
- 観察記録を書く。
- 曲を演奏する。
- パフォーマンスをする。
- 試合をする。
- 企画を立てる。

2 研究概要

《パフォーマンス課題とは・・・？》



参考：新学習指導要領の趣旨を踏まえた「観点別学習状況の評価」実施の手引き [大阪府教育委員会]

2 研究概要

《パフォーマンス課題とは・・・？》

(例1) 国語(現代の国語) 「言葉がもつ力や働きを理解し、人の心を動かす表現を考えよう」【書くこと】

あなたは、キャッチコピーライターです。コロナ禍の影響で中学生対象の学校説明会を開くことができなくなった〇〇高等学校から、学校案内の表紙に掲載するキャッチコピーを依頼されました。充実した高校生活を過ごしたいと考えている中学生やその保護者の心をつかむために、〇〇高等学校の魅力をもっと簡潔に表した表現を考えなくてはなりません。

〇〇高等学校のキャッチコピー及び校長先生へのプレゼンテーション用の説明を考えなさい。

	A	B	C
思・判・表	キャッチコピーを見た人が〇〇高等学校に興味・関心を抱き、入学したいと考えるような言葉を考え、文の組み立てや表記の仕方、表現技法等の優れた工夫を凝らしている。	キャッチコピーを見た人が〇〇高等学校に興味・関心をもつ言葉を考え、文の組み立てや表記の仕方、表現技法等の工夫を凝らしている。	キャッチコピーを見た人が〇〇高等学校に興味・関心を引く言葉を考え、文の組み立てや表記の仕方、表現技法等の工夫をしている。
主体的	作品の完成に向けて、相手(中学生・保護者)や目的(〇〇高等学校の学校案内)に関する多くの情報を収集・整理・分類しながら、多面的に考察して、表現を練り上げようとしている。	作品の完成に向けて、相手(中学生・保護者)や目的(〇〇高等学校の学校案内)に関する情報を収集・整理・分類しながら、表現を選んで組み合わせようとしている。	作品の完成に向けて、相手(中学生・保護者)や目的(〇〇高等学校の学校案内)に関する情報を収集しながら、表現に結び付けようとしている。

2 研究概要

《パフォーマンス課題とは・・・？》

(例2) 保健体育(体育) 「球技(ネット型: バレーボール)」

特別ルールとして1～3打目のいずれかをキャッチしてもよい簡易ゲームを行うこととします。これまでの練習やゲームを踏まえて、みんなが楽しく勝敗を競い合えるチームごとの戦術や作戦を立ててみましょう。

	A	B	C
思・判・表	体力や技能の程度等に配慮して、仲間とともにゲームを楽しむための効果的な戦術や作戦を見付け、他者に伝えている。	体力や技能の程度等に配慮して、仲間とともにゲームを楽しむための戦術や作戦を見付けている。	体力や技能の程度等に配慮して、仲間とともにゲームを楽しむための戦術や作戦を見付けることができていない。
主体的	作戦などの話合いについて、自己の考えについて相手の感情に配慮しながら発言したり、指導者の発言に同意したりしてチームの話合いを進めようとしている。	作戦などの話合いについて、自己の考えを述べたり相手の話を聞いたりするなど、チームの話合いに責任をもって関わろうとしている。	作戦などの話合いについて、自己の考えは述べるが、チームの話合いに貢献しようとしていない。

2 研究概要

《思考力等を問う評価問題の作成にむけて》

○評価問題を作成するにあたって押さえておきたいポイント

→見方・考え方を働かせて様々な視点から主題を考察させる、実際の授業場面でも展開されるような思考過程自体を問題にすることで、ペーパーテストやC B Tであっても、思考力等を問うことができます。

○評価問題の活用例としての誤答分析

→テストの結果を指導の改善及び生徒の学習改善に生かすことが大切であり、評価問題の誤答分析を通じて、生徒がどのような思考をたどっているかを推測し、生徒のつまづきを把握することができます。そして、そのつまづきに応じた適切な指導を行うことで、指導と評価の一体化をより一層充実させることも可能になります。

○評価問題の改善（ブラッシュアップ）に向けて

→思考力等を問う評価問題をゼロから作成するのではなく、今まで作成したテストの問題や大学入学共通テスト等の問題を改変または活用していくことで、問題作成能力や授業改善の向上につなげることが期待できます。

3 今後の計画

- ① 文献による事例の研究
- ② 講座等に現場教員への聞き取りおよび実践
 - ・ C09 地理・歴史教育研修講座【中学校・高等学校}
 - ・ C19～21 学びを実感させる高等学校理科研修講座【物理・化学・生物}

} 講座で実際にパフォーマンス課題を作成

 - ・ 教科「保健」における思考力・判断力・表現力等を問うパフォーマンス課題の事例作成
 - 現場教員による実践を通して効果を検証
 - ・ C12 地理歴史科公民科の評価問題づくり研修講座
 - ペーパーテストやC B T形式における思考力等を問う評価問題の作成
- ③ 各教科におけるパフォーマンス課題およびルーブリックの開発
- ④ 思考力等を問う評価問題（ペーパーテスト、C B T）の事例作成

▼

センターHPにて発信！